

(様式1)

## 平成21年度における「がん対策」に関する都道府県の取組

都道府県名 山形県

### 1 平成21年度において、都道府県として、「がん対策」をどのように推進していくのか。

対 策 名	課 題	具 体 的 な 対 応	21年度予算額 上段( )に 20年度予算額
(1) 放射線療法及び化学療法の推進 並びにこれらを専門的に行う医師 等の育成	・拠点病院では、放射線療法及び化学療法を実施できる体制が整備されているが、これらを専門的に行う医師、看護師、薬剤師、放射線技師等の医療従事者の数が不足している。	・がん診療連携拠点病院機能強化事業における医療従事者研修事業を効果的に実施する。 ・がん診療施設情報ネットワークにより最先端の情報や技術を共有し診療レベルの向上を図る。	千円 (32,117) 32,354
(2) 治療の初期段階からの緩和ケア の実施  ① 治療の初期段階からの緩和ケア 及び専門的な緩和ケアの推進	・緩和ケアを治療の初期段階から適切に提供していくために、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアの重要性を認識するとともに、その知識や技術を習得する必要がある。	・がん診療連携拠点病院機能強化事業を活用し、各拠点病院において医師を対象とした緩和ケア研修会を開催する。 ・国立がんセンター主催の緩和ケア指導者養成研修会、緩和ケアチーム研修会等に派遣する。	<(10,000)> <30,000> ※再掲
② 在宅療養・緩和ケアの充実	・がん患者の4割以上が75歳以上であり介護者自身も高齢や共働きで介護が困難である場合が多いこと、医療と福祉の円滑な連携が図られていないことなど、在宅療養支援体制の整備が必要である。	・がん患者在宅療養支援の推進に向けた保健・医療・福祉関係機関等によるモデル的な連携体制の整備を図る。	(798) 300
(3) がん登録の推進	・拠点病院等ががん診療を行っている医療機関において院内がん登録を推進していくとともに、医師会等の協力を得ながら、一層の地域がん登録の精度向上を図っていく必要がある。 また、がん登録を広く県民に周知する必要がある。	・がん診療連携協議会のがん登録部会や県域がん登録室の指導のもと、拠点病院等の院内がん登録を一層充実するとともに、継続して、県医師会等への協力依頼や県ホームページ等による県民への積極的な情報提供を行う。	(8,453) 7,749

対 策 名	課 題	具 体 的 な 対 応	21年度予算額 上段( )に 20年度予算額
<b>(4) がん予防・早期発見の推進</b> <b>① がんの予防</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発がんリスクの低減を図るためのたばこ対策の充実や、県民の食生活、運動等に関する生活習慣の改善を促進する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動喫煙防止対策推進キャンペーンを実施し、特に飲食店等の民間施設の分煙・禁煙の実施を促進する。県ホームページ、出前健康教室等により情報提供や啓発活動を行うとともに、食事バランスガイドやエクササイズガイド2006の活用促進を図る。</li> </ul>	千円 (756) 566
<b>② がんの早期発見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診率及び同精密検査受診率の向上を図ること、並びにがん検診の適切な精度管理及び事業評価の充実を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報、啓発資料配布、ホームページ等による啓発や情報提供の推進</li> <li>・県生活習慣病検診等管理指導協議会の運営による精度管理と事業評価の推進</li> <li>・検診従事者の資質向上を図る研修会の開催</li> </ul>	(1,967) 1,923
<b>(5) がん医療に関する相談支援及び情報提供</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者及びその家族の不安や疑問に適切に対応するために、拠点病院の相談支援センター機能を一層、充実・強化する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん診療連携拠点病院機能強化事業におけるがん相談事業及び普及啓発・情報提供事業を効果的に実施する。</li> </ul>	<(30,000)> <30,000> ※再掲
<b>(6) がん医療水準均てん化の促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各二次保健医療圏に設置している拠点病院機能の充実・強化とともに、県がん診療連携協議会及び同部会の円滑な運営により連携の強化を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん診療連携拠点病院機能強化事業におけるがん診療連携協議会による均てん化に関する企画検討・情報の共有化、がん医療従事者研修、診療支援、地域がん登録の推進などを行う。</li> </ul>	<(30,000)> <30,000> ※再掲
<b>(7) がんに関する研究の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域がん登録の成果を活用してがんに関する研究を一層推進する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん実態調査（地域がん登録）資料を活用した疫学研究、がんの臨床研究に対する疫学的な手法についての支援などを行う。</li> </ul>	(644) 280
<b>「がん対策」予算合計（様式2の「がん対策」予算合計と一致すること）</b> 注：「様式2（8）その他」の事業は、がん対策全体に係る予算額であるため、（156）150千円を予算合計に合算している。			千円 (44,891) <sup>注</sup> 43,322 <sup>注</sup>

(様式2)

## 平成21年度における「がん対策」に関する具体的な事業一覧

都道府県名 山形県

### (1) 放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成

事業名	事業内容	国庫補助有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
①都道府県がん診療連携拠点病院機能強化事業	・都道府県拠点病院において、地域拠点病院等のがん医療の中心となる医師等を対象とした専門的な研修を開催する。	・がん診療連携拠点病院機能強化事業(厚生労働省健康局)	千円 10,000	千円 10,000	県立中央病院
②地域がん診療連携拠点病院機能強化事業	・地域拠点病院において、地域の医療機関等のがん医療の中心となる医師等を対象とした専門的な研修を開催する。	・同上	20,000	20,000	山形市立病院済生館、県立新庄病院、公立置賜総合病院、日本海総合病院
③がん診療施設情報ネットワーク運営事業	・国立がんセンターと全国中核的がん診療施設とを結ぶテレビ会議によりがん診断・治療等の最先端の情報・技術を共有する。	・がん診療施設情報ネットワーク事業(同上)	2,117	2,354	県立中央病院

※①及び②の事業内容は、がん診療連携拠点病院機能強化事業のうちがん医療従事者研修を記載した。以下(2)、(3)、(5)及び(6)も同事業による内容。

①及び②の予算額は、全事業費を(1)に一括記載し、(2)、(3)、(5)及び(6)の項目では再掲として記載した。

### (2) 治療の初期段階からの緩和ケアの実施

事業名	事業内容	国庫補助有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
①都道府県がん診療連携拠点病院機能強化事業	・拠点病院及び地域の医療機関においてがん医療に携わる医師を対象として緩和ケア研修会を開催する。	・がん診療連携拠点病院機能強化事業(厚生労働省健康局)	千円 (10,000) 再掲	千円 (10,000) 再掲	県立中央病院
②地域がん診療連携拠点病院機能強化事業	・同上	・同上	(0) 再掲	(20,000) 再掲	山形市立病院済生館、県立新庄病院、公立置賜総合病院、日本海総合病院
③がん患者在宅療養支援推進事業	・がん患者在宅療養支援の推進に向けた保健・医療・福祉関係機関等によるモデル的な連携体制の整備を図る。	・がん対策推進特別事業(同上)	798	300	県

### (3) がん登録の推進

事業名	事業内容	国庫補助有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
①がん実態調査(地域がん登録)	・がん患者の発症及び生存状況等の実態調査を行い、解析・評価し、成果を医療機関及び行政機関等に還元する。	・無	千円 8,453	千円 7,749	県
②都道府県がん診療連携拠点病院機能強化事業	・がん診療連携拠点病院における院内がん登録の促進を図り、データ集積及び分析を行い実施状況を把握するとともに、その状況を改善していく。	・がん診療連携拠点病院機能強化事業(厚生労働省健康局)	(10,000) 再掲	(10,000) 再掲	県立中央病院
③地域がん診療連携拠点病院機能強化事業	・同上	・同上	(20,000) 再掲	(20,000) 再掲	山形市立病院済生館、県立新庄病院、公立置賜総合病院、日本海総合病院

### (4) がん予防・早期発見の推進

事業名	事業内容	国庫補助有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
①喫煙対策総合推進事業	・公共施設及び民間施設の受動喫煙防止対策、禁煙支援体制の整備、並びに未成年者の喫煙防止対策を推進する。	・たばこ対策促進事業(厚生労働省健康局)	千円 756	千円 566	県
②がん・生活習慣病早期発見推進事業	・山形県生活習慣病検診等管理指導協議会の運営、並びに生活習慣病検診等従事者の資質向上を図るための講習会を行う。	・無	1,967	1,923	県、県医師会

(5) がん医療に関する相談支援及び情報提供

事業名	事業内容	国庫補助有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
①都道府県がん診療連携拠点病院機能強化事業	・都道府県拠点病院において、がん患者及び家族等への電話、面談等による相談、がんに関する各種情報提供を行う。	・がん診療連携拠点病院機能強化事業(厚生労働省健康局)	千円 (10,000) 再掲	千円 (10,000) 再掲	県立中央病院
②地域がん診療連携拠点病院機能強化事業	・地域拠点病院において、がん患者及び家族等への電話、面談等による相談、がんに関する各種情報提供を行う。	・同上	(20,000) 再掲	(20,000) 再掲	山形市立病院済生館、県立新庄病院、公立置賜総合病院、日本海総合病院

(6) がん医療水準均てん化の促進

事業名	事業内容	国庫補助有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
①都道府県がん診療連携拠点病院機能強化事業	・都道府県拠点病院において、がん診療連携協議会による均てん化に関する企画検討・情報の共有化、がん医療従事者研修、診療支援、地域がん登録の推進など	・がん診療連携拠点病院機能強化事業(厚生労働省健康局)	千円 (10,000) 再掲	千円 (10,000) 再掲	県立中央病院
②地域がん診療連携拠点病院機能強化事業	・地域拠点病院において、がん診療連携協議会による均てん化に関する企画検討・情報の共有化、がん医療従事者研修、院内がん登録の推進など	・同上	(20,000) 再掲	(20,000) 再掲	山形市立病院済生館、県立新庄病院、公立置賜総合病院、日本海総合病院 拠点病院

(7) がんに関する研究の推進

事業名	事業内容	国庫補助有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
①がん対策調査研究事業	・がん実態調査資料を活用した疫学研究、がんの臨床研究に対する疫学的な手法についての支援などを行う。	・無	千円 644	千円 280	県

(8) その他

事業名	事業内容	国庫補助有無	20年度予算額	21年度予算額	実施主体
①がん対策の総合推進	・がん拠点病院、医療関係機関・団体等との意見・情報交換、 連絡調整等を行う。	・無	千円 156	千円 150	県
「がん対策」予算合計（様式1の「がん対策」予算合計と一致すること）			千円 44,891	千円 43,322	

(自由記載)

## 都道府県における取組の詳細について

都道府県名 山形県

### ○がん検診受診促進連携事業（国からの受託事業）の実施（計画申請中）

本事業は、がん検診に係る効果的な普及啓発を進めるため、県民に接する機会を持つ企業等と連携した取組み、県民が集中する地域・場所・施設等を活用した取組み等を行うことにより、県民のがん検診受診への行動を効果的に誘発し、もって本県のがん死亡率の減少を図ることを目的とする。

※9月補正予算要求中、事業費6,200千円

#### (1) 企業との連携による受診促進事業

金融機関等の顧客対応窓口等で県民に接する機会を持っている、又は従業員等を多数雇用しているなど、高い普及啓発効果が見込まれる企業等と連携して、県民又は従業員等に対して、がんに関する正しい知識及びがん検診の必要性についての情報提供等（啓発資料の掲示・配布、がん予防講座等）を実施する。

#### (2) エリア集中型受診促進事業

人が集中する繁華街、レジャー施設、ショッピングセンター、温泉施設等において、県民に対して、がんに関する正しい知識、がん検診の必要性及び受診方法等についての情報提供等（啓発資料の展示・配布、受診勧奨、受診方法の説明等）を実施する。

### ○やまがた社会貢献基金「平成21年度協働助成事業」によるがん患者団体への支援

本事業は、基金を活用して、社会や地域の課題解決に意欲的に取り組むNPO法人やボランティア団体等の活動に助成するものであり、県政課題部門（がん患者や家族の苦痛の軽減のための支援活動）において、本県の中核的な乳がん患者団体に活動促進のための助成（500千円）を行った。

<主な活動内容> 研修会（講演会、実技指導等）：年3回、患者交流会：年2回、おしゃべり会（体験者や医師との交流）、会報誌発行：月1回 等

### ○山形大学、がん診療連携拠点病院、マスメディア（地元新聞社）等と連携したがん対策に係る普及啓発の推進

山形大学、6つのがん診療連携拠点病院、山形新聞社、県で組織する「山形がん対策啓発推進委員会」等が「県民健康講座 2009 山形乳がんフォーラム」を6月に開催（参加人数400名）し、がん予防、がん検診、がん治療等のがん対策に関する普及啓発を一体的・効果的に行った。

(1)「山形県がん対策推進計画について」（県）(2)講演1「乳がんの早期発見をめざして」（医師）、2「安心と信頼の乳がん治療～あなたの笑顔のために～」(医師) (3)パネルディスカッション（県民・参加者からの質問に対する回答）（医師4名）

### ○市町村・検診機関の職員向け「がん検診スキルアップ研修会」の開催を通じたがん検診受診率の向上

山形大学、がん診療連携拠点病院、県との共催により、がん検診受診率向上のために、効果的な施策や検診の精度管理の向上を図るための必要な知識等を習得する研修会を開催する。（参加者 約80名、9月下旬開催予定、講師予定：国立がんセンター部長、山形大学医学部教授）

### ○やまがたピンクリボンフェスタ2009（ピンクリボン運動）への参加・協力

#### (1)「やまがたピンクリボンプレフェスタ2009inもがみ」

広報、パネルディスカッションへの参加（パネラー）等

#### (2)「やまがたピンクリボンフェスタ2009」の予定

県の後援、広報、ピンクリボンツリーの県庁舎内展示、開会式への知事出席・来賓あいさつ、パネルディスカッションへの参加（パネラー）、スタッフ協力等